

「今月の1枚」



写真1 ゴショイチゴの果実。オレンジ色の大きな果実をつけます。中国では果実を覆盆子とよび、腎臓の薬や強壮薬として使うそうです。



写真2 ゴショイチゴの葉。カエデのような掌状葉。表面にシワがあります。

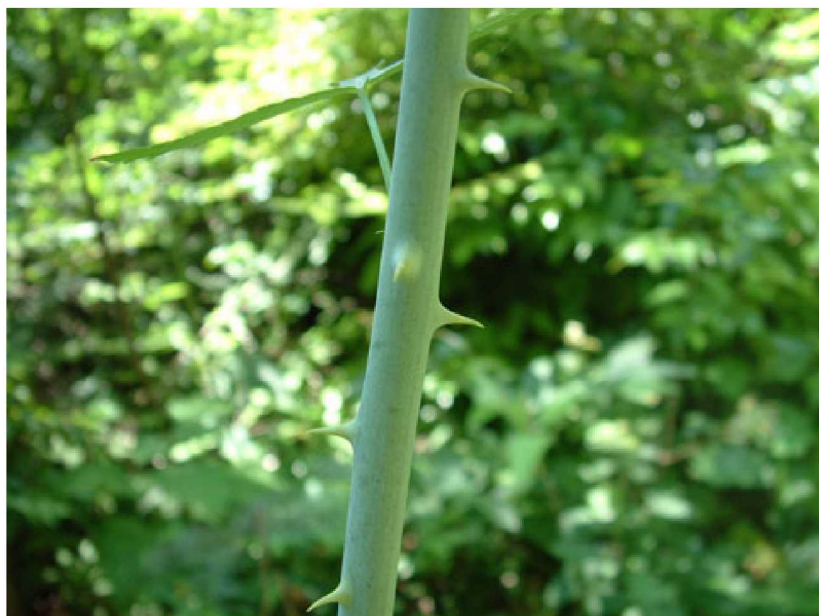


写真3 ゴシヨイチゴの茎。草丈は高く、2 mになります。茎の表面は粉を吹いたように白く、大きなトゲがまばらにつきます。

ゴシヨイチゴ （バラ科キイチゴ属） *Rubus chingii*

高知県、愛媛県、山口県、大分県にのみ分布する希少なイチゴ。高知県レッドリストでは最も絶滅の危険性の高い「絶滅危惧IA類（CR）」に指定されています。高知では早明浦ダム周辺、旧土佐山村等で見られます。

キイチゴ類の種子の寿命は長いため、生育地周辺には埋土種子が眠っているはずですが、生育地周辺は人工林地帯なので、間伐や皆伐を促進することによって、この種を保全することができるかもしれません。

（写真・文：酒井 敦 2012年6月15日高知県土佐町にて撮影）

（No.239 2013.6.20 掲載）